

令和 8 年度第 1 回旭川市行財政改革推進委員会 会議録（要旨）



日時	令和 8 年 1 0 月 1 4 日（水）17:00～18:10
場所	旭川市総合庁舎 7 階大会議室 C
出席者	河崎委員・佐々木委員・新山委員・長谷川委員・靱岡委員 （事務局）三宮行財政改革部長 行財政改革部田村次長 行政 DX 課丸谷課長補佐・星野主査
公開・非公開の別	公開
会議資料	次第 資料 1 会議公開等に関する取扱い（案） 資料 2 旭川市行財政改革推進委員会委員名簿 資料 3 旭川市行財政改革推進委員会条例 資料 4 旭川市行財政改革推進プログラム 2024 資料 5 行財政改革推進プログラム 2024 の中間報告と振り返り 資料 6 今後のスケジュールと進め方（案）
議事要旨	
1 開会	・事務局の進行で開会した。 ・出席委員の紹介があった。 ・三宮部長から開会に当たっての挨拶があった。
(1) 委員会の運営について	・事務局から委員会の運営について説明があった。 （事務局）会議は公開とし、会議開催の事前公表、傍聴、資料の提供、会議録の作成と公表について資料 1 のとおりとする。
2 議題 行財政改革推進プログラム 2024 の中間報告と振り返り	
ア 旭川市行財政改革推進プログラムの概要	・事務局から資料 4 に基づき説明があった。 質疑なし
イ 行財政改革推進プログラム 2024 の中間報告と振り返り	・事務局から資料 5 及び 6 に基づき説明があった。 （会長） 限られた時間の中で十分議論するためには全 54 の行財政改革の取組の中から論点を絞り込んで行う必要がある。
ウ 本委員会における評価対象取組	・行財政改革の取組から委員会で評価する取組を選定した。 ・以下の進行と決定があった。 （会長）まず、委員の皆様から全体から検討項目の提案を募る。 （委員）人件費が増加している状況で、人件費の削減は難しいところもあるが、フレックスタイムの導入など一定の効果を出しているのも承知している。人件費削減の状況について担当部局に確認

	したい。 (委員) 来庁時に感じるが、総合庁舎駐車場の誘導員も複数名おり、市として負担になっているのではないか。 (事務局) 駐車場の誘導員総合庁舎駐車場は有料化に向けてシステムの導入も検討しており、誘導員の複数名体制がずっと続くものではないと認識している。有料化により、負担が一部解消される部分もある。 (委員) 了承した。 (会長) 他に検討項目の提案はあるか。 (委員) シティプロモーションによる歳入確保の推進とは具体的にどのような取組か。 (事務局) 市の情報発信によりふるさと納税の増、企業誘致、移住促進などによる歳入確保に努めるものである。 (委員) ふるさと納税は、まだ行財政改革推進プログラムの目標が達成できていない状況であり、シティプロモーションに係る取組や目標値に対する取組について担当部局に確認したい。 (会長) その他提案あるか。 (委員) 観光振興に係る新たな財源の検討とは何か。 (事務局) 4月から導入した宿泊税となる。 (委員) 了承した。 (委員) 小・中学校の適正配置の推進について、子ども数が減少しているので学校数が減少方向である一方で、報道では旭川市が新たにスーパースクールを作るという動きがある。新たに学校を建築するのは行財政改革とは逆行するようにも見えるが、状況はどうか。 (事務局) 校舎は現存の校舎を使用する予定。 (委員) それであれば、ハード面での負担は小さいと思う。了承した。 (委員) 人件費の削減と DX の推進は切り離せない部分があるので、人件費の削減の中で DX の取組についても、どのように向上して、どのような効果が見込まれ、どんな課題が生じたのか担当部局に確認したい。 (事務局) 人件費の削減については、DX の推進等により職員数を削減できるという議論もある一方で、今後職員数の確保が困難になるとも想定されるので、それに向けて DX は取り組まなければならない課題と考えている。 (会長) ヒアリングの対象項目として、シティプロモーションの取組を含めた「(1)ふるさと納税の推進」「(2)企業版ふるさと納税の推進」における実績、課題、全国との比較、目標達成に向けた取組。
--	--

	「(3)業務効率化による人件費の削減」の中で、働きがい改革に関する取組や DX の推進に関する取組について併せて確認するという ことで良いか。 (出席委員) 了承した。 (会長) では、これらの項目をヒアリング対象として決定する。 次回のヒアリングにおいて、これらの項目について担当部局から 説明をいただき、質疑応答を行う。 (出席委員) 了承した。
3 閉会	・事務局から、委員会報酬とスケジュールについての説明があっ た。 ・会長の進行で閉会した。